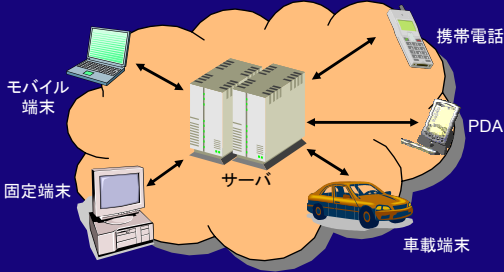


小口研究室 研究概要

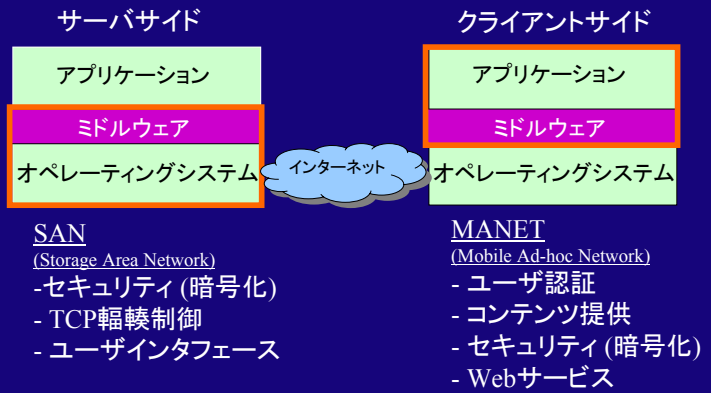
ユビキタスコンピュータ時代

データの流れが双方向化、データ流通量増大、処理の大規模化



全体が大規模データ処理を行う巨大な情報システムへと進化
ネットワークに接続された種々のコンピュータを連携させて高度なデータ処理を行う
ネットワークコンピューティングのためのソフトウェアの研究

研究ターゲット

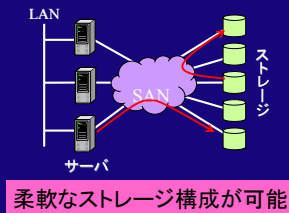
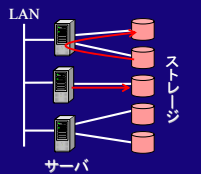


サーバサイド SAN (Storage Area Network)

ストレージ技術

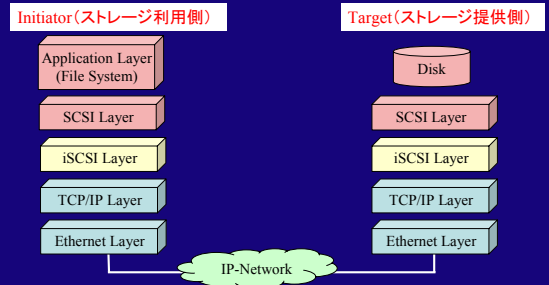


- 1990年代: DAS (Direct Attached Storage)
 - SCSIバス等を使用して、サーバに直接接続するストレージ接続形態
- 2000: SAN (Storage Area Network)
 - 専用の高速ネットワークを構築しサーバとストレージ間を柔軟に接続するストレージ接続形態
- 2004: iSCSI



iSCSI

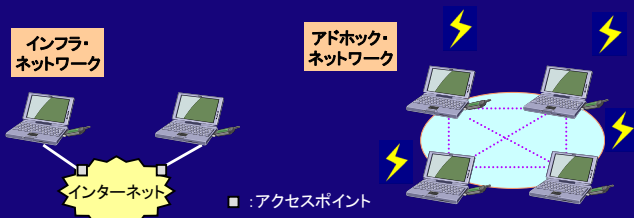
- TCP/IPとEthernetを用いて構築するIP-SANのデータ転送プロトコル
- 2003年2月にIETFにより承認
- IP-SANの最有力候補
- クライアント、サーバモデルを実装



クライアントサイド MANET (Mobile Adhoc Network)

無線アドホックネットワーク

- P2P接続を利用し、固定基盤ネットワークに接続できない環境において集まったノードがその場のみで構築するネットワーク
- 多数の端末をアクセスポイントの介在なしに相互接続する形
 - 同一のアドホック網に接続されたホストはそれぞれの端末同士が直接通信可能



P2P (Peer to Peer) 型通信システム

- 中央サーバがない
- 個々のノードがクライアントとサーバの両方の役割を担う
- 単一障害によるサービス停止の回避が可能

